

東京大学中東地域研究センター (UTCMEs)
[スルタン・カブース・グローバル中東研究寄付講座]

第5回定例研究会

ブレジネフ時代の中央アジア政治史再考 中央・地方関係を中心に

報告者: 地田徹朗 (北海道大学スラブ研究センター学術研究員)

要旨

今回の報告では、モスクワのロシア国立現代史文書館のアーカイブ資料、中でもソ連共産党中央委員会組織・党活動部カザフスタン・中央アジア課の文書を用いて、筆者が過去に研究してきたブレジネフ時代の連邦中央・共和国関係を再検討してみたい。本報告により、中央アジア5共和国（ウズベキスタン、カザフスタン、クルグズスタン、タジキスタン、トルクメニスタン）が政治的自律性を高めてゆくプロセス、モスクワによる共和国レベルでの人事政策への介入の仕方の変化などが明らかになる。また、本報告によりブレジネフ時代の「帝国」としてのソ連の特質の変化についても見取り図を提示したいと考えている。

日時：2012年12月15日(土) 15:30-17:00

(参加自由、事前連絡不要)

会場：東京大学駒場キャンパス18号館1階
メディアラボ2 *1

*1 土曜日につき18号館入口は施錠されていますので、できる限り定刻までにお越しください。

なお、都合により時間や会場が変更される場合は、当センターのホームページにてお知らせします。

問い合わせ先：東京大学中東地域研究センター (UTCMEs)
03-5465-7724/info@utcme.s.c.u-tokyo.ac.jp
<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/UTCMEs/index.html>



東京大学中東地域研究センター
UTCMEs
The University of Tokyo Centre for Middle Eastern Studies